インフラメンテナンス国民会議　九州フォーラム
第二回ピッチイベント『ピッチイベント in おおいた 2019』の開催
【プレゼンを希望する民間事業者の募集】

インフラメンテナンス国民会議九州フォーラムでは、これまでに、キックオフフォーラムや自治体へのヒアリングを通じて、インフラメンテナンスにおける課題・問題点について意見収集を行ってきました。

また、当フォーラムでは九州全域の活動展開を目指しており、その第一歩として大分県内で収集したニーズに対してマッチング活動を行うことで、地域に根ざした活動を展開し、自治体会員と一体となり課題解決を目指します。

今回、民間事業者などが保有する最新の技術やノウハウを持ち寄り、シーズ技術を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図るピッチイベントを下記のとおり開催します。

つきましては、ピッチイベントで**別紙１に示すテーマ（課題）**に対し、保有するシーズ技術をプレゼンテーションしていただく民間事業者を募集します。

※本ピッチイベントの結果、公共施設管理者のニーズに適応する可能性が高いと認められた技術については、実用化の可能性を検証するフィールド実証実験の実施を想定しています。なお、実証実験に必要となる諸費用については、原則、民間事業者などのご負担とします。

記

・名称　　：インフラメンテナンス国民会議　九州フォーラム
　　第二回ピッチイベント　『ピッチイベント in おおいた 2019』
　　※イベント内容等の詳細は**別紙２参照**
・開催日時　：令和元年 7 月 30 日（火）
　　13：30～17：10（12：30 受付開始）
・開催場所　：J:COM ホルトホール大分 302・303 会議室
　　（〒870-0839 大分県大分市金池南１丁目５－１）
・そ の 他　：ピッチイベントでは、1 社あたり 5 分程度のプレゼンテーションを予定
・問い合せ先：インフラメンテナンス国民会議　九州フォーラム事務局
　　（一般社団法人　建設コンサルタンツ協会九州支部）
　　TEL　：092-434-4340
　　E-mail：qsinfo@jcca.or.jp

申　込　要　領

【プレゼンを希望する民間事業者参加の申込み】

１．参加資格

シーズ技術を持つ民間事業者等※

※インフラメンテナンス国民会議の会員でない民間事業者等は、申込み合わせて会員登録をよろしくお願いします。会員登録については、インフラメンテナンス国民会議HP（http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/im/login/index.html）をご参照下さい。

２．申込み手続き

申込み方法：提出資料を電子メールにて申込み先に送付

提出資料：①参加申込書（別紙３）

②情報提供を予定しているシーズ技術の概要・コスト・適用条件・アピールポイント・開発状況・その他参考内容（任意様式 A4×1 枚程度）

③実施事例がある場合、状況写真等（任意様式 A4×1～2 枚程度）

申込み先：インフラメンテナンス国民会議　九州フォーラム事務局

（一般社団法人　建設コンサルタンツ協会九州支部）

アドレス：qsinfo@jcca.or.jp

３．申込み期限

令和元年 7 月 12 日（金）17：00 まで

４．参加者の決定

事務局において申込み事業者の中から書類選考により決定（各テーマ数社）

５．選考結果の通知

平成元年 7 月 16 日（火）（予定）までに申込み事業者の連絡先に通知

６．参加の申込みに際しては、次項の留意事項をご確認下さい。

留　意　事　項

【知的財産権に関する主な留意事項】

○ピッチイベントは、オープンな場として運営することを基本とし、自らの技術を紹介する場合には、自らの責任においてこれを行うことが求められており、秘匿すべき情報は、その場に持ち込まないことを前提とします。

○一方、議論する中でさまざまなアイデアが出されることが想定され、これを基に、ある参加者が発明を創出し、特許財産権が成立する可能性も否定できません。

○アイデアを得て参加者が技術開発を行い、発明に至った場合や申請を行った場合には、技術開発を行った者に知的財産権が認められるものと考えられます。

○また、議論を通じ、技術開発の共同グループが形成される場合には、知的財産の取扱いについて、あらかじめ当事者間で取決めておくことが望ましいです。

○参加者は、この基本的な考え方に同意して出席する必要があります。

【著作権に関する主な留意事項】

○参加者は、提出した資料等に係る著作権に関し、事務局等が当該資料を利用（複製や公衆通信などを含みます。）することを許可することとし、また、著作者人格権を行使しないことに同意することとします。

○また、参加者は、提出資料に記載された文書、図表、写真、イラストなどの著作権等に留意し、使用許可が必要な場合は、参加者の責任において必ず許可を得ておくこととします。

別紙１

◯テーマ１

橋梁点検の効率化技術

【求める技術】
橋梁点検において、コスト縮減や省力化、簡略化を可能とする技術で、
以下のいずれかの条件を満たすもの。

【条件】
●橋梁点検において、大規模な橋梁点検車や高所作業車を用いないで
点検可能となる技術。
●橋梁点検において、直営点検が可能となるような技術。

別紙２

インフラメンテナンス国民会議　九州フォーラム　第二回ピッチイベント
『ピッチイベント in おおいた 2019』

「インフラメンテナンス国民会議九州フォーラム」は、公共インフラの維持管理に関する自治体支援、技術開発推進に向けた情報交換やベストプラクティスの水平展開及び取組のマッチング等により、様々な課題の解決を目指し、昨年 1 月に立ち上げた、産・学・官・民からなる活動組織です。第一回ピッチイベントでは、九州全域からニーズを募集し、様々な企業から課題解決のため技術やノウハウ等を提案頂きました。また、当フォーラムは九州全域への活動展開を目指しており、その第一歩として大分県で第二回ピッチイベントを行います。今回は、大分県内で収集したニーズに対してマッチング活動を行うことで、地域に根ざした活動を展開し、自治体会員と一体となり課題解決を目指します。

【開催概要】

●日時：7月 30 日（火）13：30～17：10（予定）

●場所：J:COM ホルトホール大分　302・303 会議室
（〒870-0839 大分県大分市金池南１丁目５-１）

●プログラム：

１．開会の挨拶【１３：３０～13：３５】
フォーラムリーダー　大分工業高等専門学校　校長　日野 伸一 氏（九州大学名誉教授）

第一部----------

２．インフラメンテナンス国民会議の取り組みについて【13：35～14：00】
「発表者：国土交通省九州地方整備局　企画部長　堂薗 俊多 氏」

３．長崎県における道守（橋守）の取り組みの紹介　【14：00～14：25】
「発表者：長崎大学　工学研究科長（工学部長）　松田 浩 氏」

４．大分県内におけるフィールド実装の事例紹介　【14：25～14：50】
「発表者：株式会社富士通交通・道路データサービス　代表取締役社長　島田 孝司 氏」

第二部----------

５．ピッチイベント　【15：00～17：05】
下記内容について全員が聴講できるよう、パネルディスカッション形式で進行する
（１）技術的なテーマ　「橋梁点検の効率化技術」（80 分）
①．九州地方整備局より、道路橋点検の効率化技術の現状について紹介
②．大分県内自治体より、技術的なニーズを紹介
③．発表ニーズに対して、２つのシーズを企業より簡単に紹介
④．技術的なテーマについて討議を実施
（２）運営課題的なテーマ　「インフラ施設の点検や管理運営に関わる課題」（40 分）
①．運営課題的なテーマについて討議を実施

６．閉会の挨拶　【17：05～17：10】

別紙３

【インフラメンテナンス国民会議　九州フォーラム　シーズ調査票】

Q1.自治体会員が抱える課題（別紙ニーズ一覧参照）に対して、提案可能な技術等を教えてください。
（提案する技術等が複数の場合は、適宜シートを増やしていただいて構いません。）

＜討議テーマ＞
橋梁点検の効率化技術

テーマ番号	技術概要
	記載例）〇〇において、〇〇を効率的に行う技術（〇〇工法）

※提案する技術の概要を記載願います。

概要説明

※提案する技術について、簡単に記載願います。図や表を用いても構いません。
パンフレットの写し（PDF）、HPの紹介などの添付でも構いません。

Q2.記入された方の連絡先等を記載して下さい。

所属	役職	氏名	連絡先	
			電話番号	Eメールアドレス